

【模範解答】

この写真は歩んでいく子ども2人の凛とした姿を森の中から撮影しており、通常とは異なった不思議な構図であるとの第一印象を抱いた。はたして、彼らは何を考え、これからどこに行こうとしているのだろうか。

写真を分析する上で特筆すべきことを以下に3点まとめたい。1つ目は、白黒写真で撮影されている点だ。カラー写真が普及したのは1900年代後半であることから、この写真は戦時中、あるいは戦後間もない時期に撮影されたことがうかがえる。2つ目は、この2人の様相だ。周囲から推測するに、2人の身長は110cmに満たない程度で、彼らの年齢は5歳程度であることがうかがえる。また、幼少期は女性の方が成長が著しく、同年齢ならば、彼らの身長は女の子の方が高くなるのが自然である。しかし、写真では男の子の方が高く、女の子の前を歩んでいることから、この2人は兄弟、特に男の子が兄で、妹である女の子を牽引していることが推測できよう。さらに、通常5歳以下の兄弟が深い森の中へと潜りこむことは少ないため、この写真は“通常時”とは言えないのではないか。3つ目は、『The Walk To Paradise Garden』という題名だ。『The』との英語には、本来「ほら、あれだよ！まさにあれ！」といった、周知された特定のもの、強い強調の意が込められていることが多い。あえて『The』という文言を付け加えていることから、通常の『楽園』とは異なった題意を込めていることが感じとれる。

以上より、彼らは緊張と不安の中、ただひたすら戦時中の自国から避難することを考え、隣国(楽園)へ行こうとしていることが推測できる。特に私は男性であるため、写真の男の子になったと仮定すれば、以下の通り考えるであろう。「怖いなあ…パパもママも一緒に来てくれればいいのに…。この森をまっすぐ突き抜ければラクエン(?)に着くって言われたけど、ホントなのかな…不安だな…。でも、妹のために僕がしっかりしなきゃ！行こう！」

(800字)

